

暮らしと経済を支え、 未来につなげる架け橋を

令和3年度当初予算は、コロナ禍の影響を踏まえた初めての予算です。市民生活と経済活動を両立させつつ、未来につなげるように、限られた財源を3つの重点施策へ配分することを基本に当初予算編成を行いました。

3つの重点施策

- ① 新幹線開業に向けたにぎわいの創出
- ② アフターコロナを見据えた社会・経済活動の推進
- ③ 人口減少対策及び交流人口増加の推進

04 令和3年度 主な事業 ※予算額は千円以下を切り捨てた額を掲載しています。

新幹線開業に向けたにぎわいの創出

■ まちづくりプレーヤー発掘・育成支援事業費 984万円

北陸新幹線敦賀開業に向け、「新幹線敦賀開業まちづくり推進会議」において推進する事業のうち、各団体との役割分担の中で敦賀市が実施する事業として、開業に向けた市民発案の企画やそのプレーヤーを発掘、育成するため、敦賀の魅力を発信する取り組みを創造する場づくり(ワークショップ、発表会)を既存のまちづくりプレーヤーと新しいプレーヤーのマッチングを図りながら行い、市民の主体的活動や開業機運の盛り上げを図ります。

■ つるがの「食・味」情報発信事業費 100万円

情報発信力のある料理家・料理人に敦賀へ来てもらい、敦賀真鯛や敦賀ふぐ、昆布といった敦賀の名産品を使った料理の様子や市内の飲食店を食歩く様子などを撮影し、撮影した動画などをSNSにて発信してもらうことで敦賀の食に関する魅力を広くPRします。

■ みなとつるが山車会館魅力向上事業費 3,406万円

“けひさんまつり”のメインとして市民や観光客に親しまれ、敦賀湊の繁栄ぶりを今に伝える山車について、歴史的・文化財的価値を再確認し、その魅力を広く市民・観光客などに発信していくため、各種事業を展開します。敦賀市への誘客の拠点施設としての訴求力を高めるため、敦賀の文化財である山車の魅力をPRするとともに、山車会館の展示内容の更新・充実を図ります。

アフターコロナを見据えた 社会・経済活動の推進

■ 保育園ICT推進事業費 2,314万円

公立保育園における保護者の利便性向上、保育士の業務負担軽減および「新しい生活様式」への対応を図るため、保育園の一部業務をICT化するシステムを導入します。

■ 中小企業者事業承継支援事業費補助金 1,000万円

新型コロナウイルス感染症の影響により継続が不可能となった事業を承継した者が実施する物件の改修工事、設備の導入費や、企業評価、名義変更などに関する事務処理費などの承継に係る経費の一部を補助します。

■ 消費拡大支援事業費 556万円

新型コロナウイルス感染症の影響により低迷している市内経済の活性化、交流人口拡大、新たな賑わい創出を図るため、事業者などが市民・観光客などの消費拡大を図るためのイベントなどの取り組みに対し支援を行います。

人口減少対策及び交流人口増加の推進

■ 結婚新生活支援事業費 1,800万円

結婚に伴う経済的負担を軽減し、結婚を希望する方々を後押しするため、新生活に向けた支援金を支給します。

■ 多世代型ウェルネス広場整備事業費 1億5,000万円

総合運動公園ちびっ子広場において、老朽化した遊具の更新にあわせて、幼児から高齢者まで、様々な世代が、楽しく体力づくりや健康づくりができる多世代型の健康をテーマとした広場を整備します。



ワークショップの様子



総合運動公園ちびっ子広場



イベントの様子

その他事業

■ 介護人材確保対策事業費 200万円

介護人材の安定的な確保および定着の促進を図るため、一定の要件を満たす介護職員に研修費用の助成を行うとともに、過去に介護職員としての実務経験がある方の介護職への再就職に対して、助成金を交付します。

■ 嶺南地域急性期医療体制強化事業費(医療器械購入費) 2億6,620万円

嶺南地域において急性期医療を完結できるよう、嶺南地域で急性期医療を主に行う医療機関が実施する設備整備に対する県補助金を活用して医療機器の整備を行います。

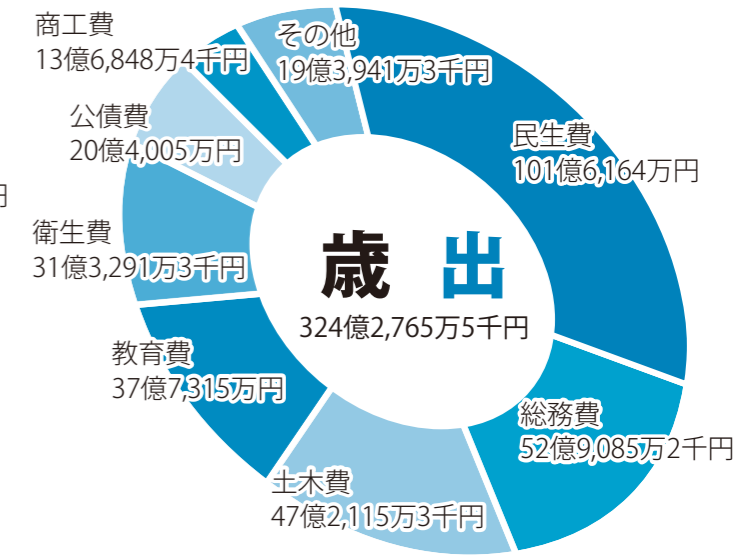
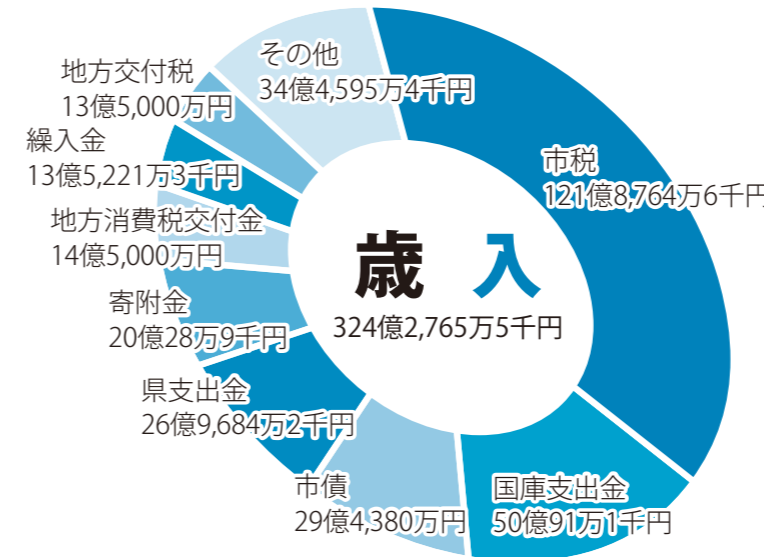
01 予算総額

一般会計は、庁舎や小中一貫校整備事業などの普通建設事業費の減少により、前年度当初予算と比較して9.6%の減となりました。

特別会計では、公共用地先行取得事業の進捗に伴い2.2%の増となり、企業会計では、下水道事業の建設改良費を令和2年度3月補正に前倒したことによる減等に伴い0.9%の減となりました。

一般会計	324億 2,765万 5千円	(前年度比 Δ 9.6%)
特別会計	139億 679万 7千円	(前年度比 2.2%)
企業会計	156億 4,413万 4千円	(前年度比 Δ 0.9%)
合計	619億 7,858万 6千円	(前年度比 Δ 5.0%)

02 一般会計の内訳



03 市債と基金の残高

市債残高は、臨時財政対策債などの影響により、増加することが見込まれ、基金残高は、コロナ禍における経済対策などに伴う財政調整基金からの繰入が増加するため、減少すると見込んでいます。

■ 市債(借金)の残高見込(一般会計)

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
市債残高	228.0億円	278.4億円	288.9億円

※予算額(繰越を含む)のため各年度とも決算額と異なります。

■ 基金(貯金)の残高見込(一般会計)

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
財政調整基金	32.9億円	30.7億円	26.2億円
目的基金	90.1億円	87.1億円	85.7億円
定額運用基金	7.5億円	8.3億円	8.8億円
合計	130.5億円	126.1億円	120.7億円

※定額運用基金の増加は、奨学育英資金貸付基金の特別奨学金制度創設による増加です。